

▶千葉大学大学院共通教育とは

目的

千葉大学は、「つねに、より高きものをめざして」を基本理念として、国際社会で活躍できる次世代型人材（高度な専門的知識と倫理感を基礎に、自ら考え行動し、国際社会の様々な分野においてリーダーとして活躍できる人材）の養成を目指しています。

今世紀に入り、テクノロジーは急速に進歩し、グローバルズムも著しく進展しています。世界では、個人の属する国や地域を越えて、経済格差や環境問題に代表される様々な課題が生起されています。

こうした多様化し複雑化する社会を的確に捉え、かつ、しなやかに適応できる力を身につけた研究者あるいは高度専門職業人となるには、自身の分野の専門知識を深めるだけでは十分ではありません。分野を越えた専門知と新たなリテラシーを総合した実践知を獲得することで、課題を意欲的に克服し、問題を対象化し、価値を新たに創造できる人材となることが可能になるのです。

そのための大学院教育改革の一環として、令和元年度より大学院共通教育を導入しています。

大学院共通教育において育成する能力

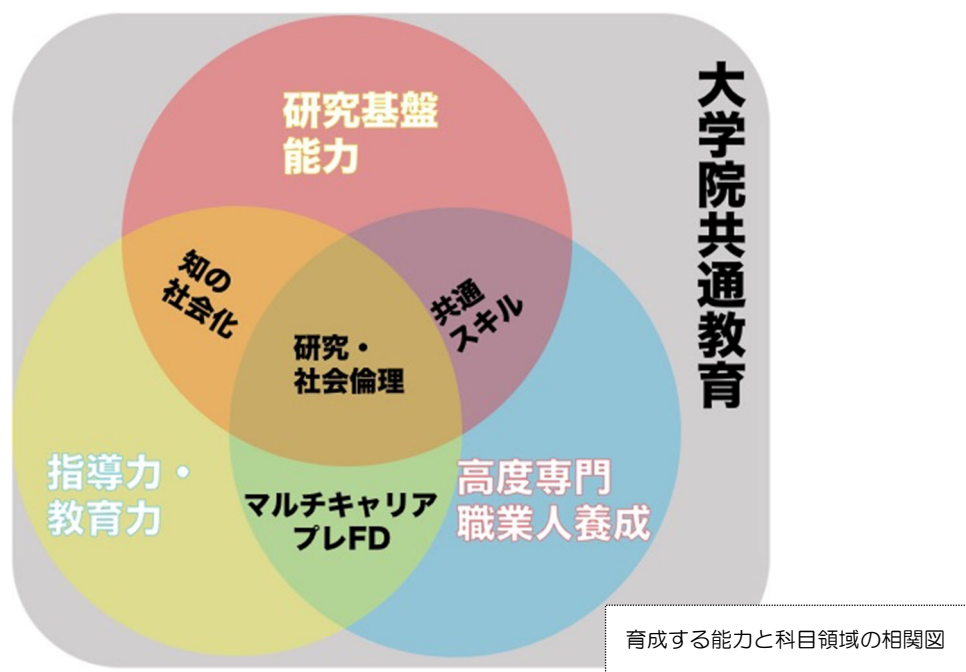
研究基盤能力：自律的・自立的・組織的に研究を行うにあたって基盤となる資質・能力

指導力・教育力：自身の専門的知識・技能・経験を他者にわかりやすく伝え、他者や組織の成長を促す能力

高度専門職業人養成：社会経済の各分野において指導的役割を果たすとともに、国際的にも活躍できる高度な専門的能力

大学院共通教育の構成

千葉大学大学院共通教育は、全学開講科目と研究科・学府開講科目の2種類から構成されており、それぞれの科目は下記に基づき、4つの科目領域に分類されます。



○4つの科目領域

研究・社会倫理

多様な文化や異なる価値観について理解を深め、専門的な知識を適切に活用できるよう、研究倫理や社会倫理についての自覚を深めるための領域

共通スキル

新たな価値を創造するために、柔軟な思考と豊かなコミュニケーションを中核とする学術研究や高度な実務で必要とされる専門的なスキルを獲得するための領域

マルチキャリア・プレFD

社会の様々な分野においてリーダーに求められる「知のプロフェッショナル」の育成にむけた、複眼的なキャリア教育を実施する領域

知の社会化

地域・社会との相互行為とそれに基づく社会貢献に必要な知識と技術を実践的に修得するための領域